

平成27年10月29日
東日本高速道路株式会社
横浜工事事務所

「第2回 横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会」を開催

NEXCO東日本横浜工事事務所（横浜市旭区、所長：小林正俊）は、平成27年10月6日、「第2回 横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会」を開催し、横浜環状南線庄戸トンネルの施工方法等について検討を行いました。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部を構成する横浜環状南線（釜利谷JCT～戸塚IC間、延長8.9km）は、全線の約7割が地下構造（トンネル又は掘割）で計画されています。

庄戸トンネル施工技術検討会（平成24年～）では、庄戸トンネルの実施工に向けた施工方法及び環境に与える影響・対策等について検討を行っています。

第2回検討会では、施工方法や本線内工事用道路の検討などを行いました。

当社では、検討会の結果を踏まえながら、準備が整ったところから順次工事に着手していく予定です。

【第2回検討会の概要】

◇開催日時 平成27年10月6日（火） 15:00～17:30

◇議事要旨・資料 別紙のとおり

※議事要旨・会議資料はウェブサイトに掲載します。

(<http://www.yokokan-minami.com/site/>)

【第2回検討会】

- ◇開催日時 平成27年10月6日（火）15：00～17：30
- ◇開催場所 （株）ネクスコ東日本エンジニアリング本社会議室（東京都荒川区）
- ◇議題
- ・検討条件の整理・設定
 - ・トンネル断面、施工方法の検討
 - ・本線内工事用道路の検討
 - ・地下水変動抑制・観測計画
 - ・耐震検討

横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会

委員名簿

（敬称略、順不同）

- 委員長 今田 徹 東京都立大学 名誉教授
- 委員 真下 英人 国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部長
- 委員 亀岡 美友 （一社）日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所 技師長
- 委員 岩井 勝彦 （株）高速道路総合技術研究所
トンネル研究アドバイザー
- 委員 八木 弘 （株）高速道路総合技術研究所 参与
トンネル研究担当部長
- 委員 山田 隆昭 東日本高速道路（株）
シニアエキスパート（トンネル）